

豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成26年2月7日（金）午前9時30分～11時30分

場所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、村野委員、佐野委員、近藤委員
鈴木委員

事務局：平下課長補佐、岸田専門員、酒井社会教育指導員

傍聴人：なし

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 平成26年度 文化財保護委員会事業計画について

- ・大狭間湿地の一般公開について後半の期間を開花時期に合わせて例年より1週間遅らせ、9月20日（土）、21日（日）とする。

(2) 平成26年度 大狭間湿地保全計画について

- ・計画書には自然観察会の会員が各地で開催する湿地サミットに参加する旨を追記する。
- ・水質検査を行いデータ資料として残しておくことよい。
- ・環境アセス調査をしない場合、徐々に開発行為が入るため、事前に情報を把握しておく必要がある。ボーリング調査をして水脈調査を行うことよい。

(3) 古民家調査の日程調整について

- ・所有者との話を進めていく上で、県に前もって作業量を確認しておくことよい。

(4) 市史編さん室事業報告

- ・沓掛城及び高圃城の位置について検証
- ・古代の街道と両村駅の位置について検証
- ・上高根の行者堂については現在、管理者がいない状況である。古民家の調査と併行して行者堂を見に行き、価値があれば市の指定とすべきである。

3 その他

- ・平成27年度は歴史民俗資料室の企画展として「俳句」を計画しており、これに先立ち今年の夏には親子を対象とした俳句の講座を2日間開くこととする。
- ・講座の内容は子供に市内の文化的な価値を知ってもらい、過去との繋がりをもたせるために体験学習を取り入れたものとする。
- ・歴史民俗資料室は改修から10年が経過したので平成27年度の予算で常設展のリニューアルを行い、桶狭間古戦場に関わるコーナーを設けるべきである。また、他市町村への広報PRとして、貸し出すことの出来る古戦場関係のパネルを作るとよい。
- ・今後も歴史民俗資料室を利用する場合は、常設展の場所に冷暖房施設の設置を考えるとよい。

- ・来館者に対応できる事務室機能の整備を行い、特別展示室ではスクリーンに映し出せる設備づくりを行うとよい。
- ・子供の郷土学習で歴史のある町として誇りを持つことが出来るようにするため、学校教育と社会教育が連携して将来的な展望を見定めていく必要がある。
- ・豊明の古戦場の歴史をマンガにして市民が手に入れることができるようにするとよい。

(1) 具申事項 (前回の確認)

- ・二村山彰功碑については案内板がないため、所有者の承認を得た上で、案内板を設置するとよい。

■ 次回文化財保護委員会 平成26年4月11日(金) 9時30分から